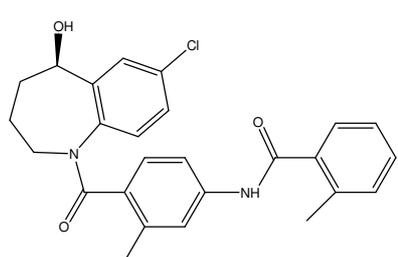
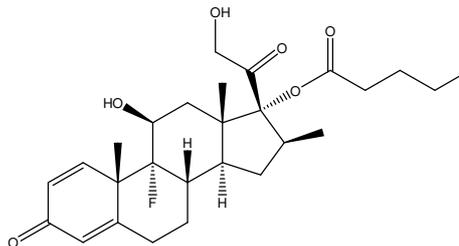


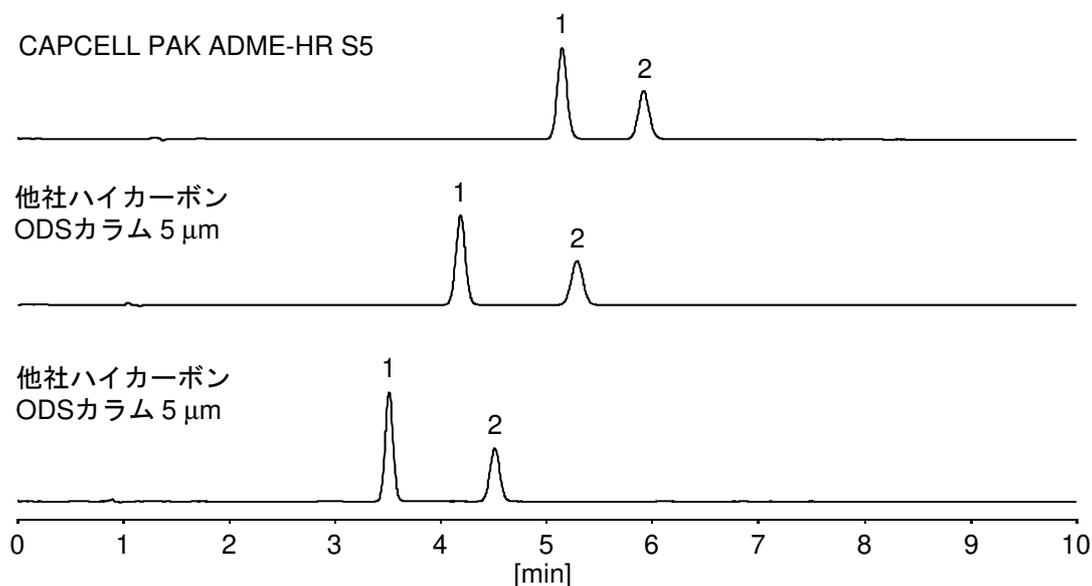
トルバプタンは腎臓に作用し利尿作用をあらわすことで心不全や肝硬変などによる過度な体液貯留などを改善する日本国内開発の薬剤です。既存の利尿剤と作用機構が異なるため、幅広い病状の改善に使われています。ここでは、カラムとして CAPCELL PAK ADME-HR S5 (4.6 mm i.d. x 150 mm)、内標準物質として吉草酸ベタメタゾンを用いて他社ハイカーボン ODS カラムと比較した例を示します。他社ハイカーボン ODS カラムと比べて分離は劣りますが、大きな保持力が得られています。



1. トルバプタン (100 µg/mL)
Tolvaptan (M.W. 448.9)



2. 吉草酸ベタメタゾン (I.S.) (100 µg/mL)
Betamethasone valerate (M.W. 476.6)



【HPLC Conditions】

Column size	: 4.6 mm i.d. x 150 mm
Mobile phase	: H ₂ O / CH ₃ CN = 40 / 60
Flow rate	: 1 mL/min
Temperature	: 40 °C
Detection	: UV 254 nm
Inj. vol.	: 5 µL
Sample dissolved in	: CH ₃ OH

※ 1 µg/mL = 1 ppm